

平成26年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第2回）【概要】

日時：平成26年11月18日（火）午前9時30分から午前11時まで

場所：千葉市ビジネス支援センター 会議室1（きぼーる13階）

1 出席委員（敬称略・名簿順）

鈴木宏子，尾崎由紀子，大久保利宏，大森英一，小西則子，太田公昭，四ノ宮貫，吉田悦子，
子安昌人，佐久間勝彦，田中庸恵（委員長），町田義昭（副委員長），菅澤朱美，大田紀子，川崎宏薫，
中村美彦

2 次第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会挨拶

(3) 報告

①平成26年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第1回）【概要】（案）について

②平成27年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項について

③平成27年度千葉県公立高等学校入学者選抜における選抜・評価方法（予定）の公表について

(4) 協議

①平成27年度以降の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について

②平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

(5) 閉会のことば

3 協議内容

次第（4）の①平成27年度以降の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について及び②平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について、協議を行った。

①について

- ・事前送付していただいた資料を見ると、本県と同様の前後期型は13ないし14県、本県が従前行ってた推薦と学力検査が26ないし27県、一本化に踏み切っているのが7県ある。
- ・中学校長としては、今後一本化の方向で考えていただきたい。県中学校長会のアンケート調査では、66%の校長が一本化を望んでいる。
- ・選抜制度について、視点によって、良い悪いは違ってくるのは当然である。
- ・受検のことだけ考えると、複数回というのは子どもや保護者にとってはありがたい。学校の中の様子を見ると子どもたちの負担が大きくなっていると思われるので、一本化がよいと考えている。
- ・今のような複数回実施が、意味のある制度なのかどうかをはっきりするような、アンケートを取ってほしい。
- ・アンケートを取っていただけるとのことだが、何を意図として行うのかを、アンケートの中に丁寧に書き添えものにして欲しい。
- ・アンケートの項目をきちんと吟味した上で行ってほしい。また、その数値的なものが何を意味しているのかという事柄をきちんと説明する必要がある。

②について

- ・日程が実質前倒しとなることで、県内私立、公立、国立や東京の私立と全部受けられる可能性が出るが、逆に受検生にとってハードスケジュールとなることが予想される。
- ・高校側の日程を考えると、たぶんこれしか日程の取りようがないのではないかと。中学校側からすると

授業時数確保という観点からすれば厳しい問題であり、この日程を続けるなら、このあたりのことも十分考えながら対策を取って欲しい。

- ・入試はこれから将来を担う子どもたちが、いかに自分がやりたいことができる高校に進んでいくかということが柱にならないといけないと思う。そのためにも中学校でしっかり教育活動ができるということがベースになるべきだと考えている。

- ・日程を決める上で、高専との日程を確認しながらお願いしたい。今年は問題ないが、去年は（確約書を）反故にしてしまったということがあった。

- ・3年生の授業はかなり厳しい状況の中で子どもたちは受けているのを感じる。塾に行っているかどうかにより、できる・できないという状況の中で受検機会を増やすというのは、子どもたちの格差を生んでいるのではないか。

- ・学校の授業がどんどん厳しくなっているという中で、きちんと授業できる状況にしていきたい。

- ・インフルエンザの診断が出た時に、検査の前日が休みだったため連絡方法がわからなかったというのがあった。そういうときにもうまく連絡ができる体制を整えていきたい。

- ・受付時間に合わせて子どもたちも高校へ行くのだが、交通の便の関係でどうしても早く行かざるを得ない。高校により室内で待機できる場所もあれば、外で待たざるを得ないというところもある。そのあたりの配慮もいただけるとありがたい。

- ・インフルエンザの件は、当該校との連絡をうまく取れるよう、高校側、中学校側で周知徹底を図っていただきたい。

- ・小学校、中学校、高等学校では、学習指導要領に基づいた基礎基本をしっかり定着させたうえで次に送っていくことが肝心である。

(その他として)

- ・1回か2回かという議論は、正論と正論のぶつかり合いなので、兵庫県の例やiBTのような方法を参考とし、第3の道を考えていただきたい。

- ・茨城は、日程は一本化したがるが、中身は共通選抜と特色化選抜の複数行っているのだから、今後の入試をよく分析をして、第3の道を考えてみてもらいたい。

- ・県教委の中でどのような一本化があるのかという検討をしたと思うので、次回あるいは次年度にまとめていただけないか。

- ・今年度、検討すべき事柄はほぼ出たのではないかと。課題として来年度に繰り越す事柄もある。次年度の開催回数も吟味してもらうことを付帯事項として、今年度は2回をもって終了とする。